



まちの話題

まちの話題で掲載しきれないイベントや写真は町のFacebookやInstagramで配信。



松島町 Facebook 公式アカウント



松島町 Instagram 公式アカウント



3月11日、東日本大震災から13年目（14回忌）を迎えました。東日本大震災慰霊祈念碑前では遺族代表及び村井宮城県知事並びに櫻井松島町長、色川松島町議会議長、杉原宮城県議会議長による献花と参列者による黙とうが行われ、犠牲者への哀悼の意を表しました。

また、多くの方が献花に訪れ、東日本大震災発生時刻には防災行政無線のサイレンに合わせて黙とうを行っていました。



あの日の記録と記憶

- ①食料を求めて開店前に並ぶ人々
- ②津波に流されフェンスに乗りあがる車
- ③消防士が避難者を救命ボートに乗せて救出の様子



東日本大震災の発生から13年。時間とともに記憶が薄れ、経験していない人も多くなってきている。今、私たちに出来るのは「あの日のことを忘れず、後世に伝えること」。

能登半島地震に関する話題



▲能登町教育委員会に松中生が集めた寄附金を届けました



▲能登半島広域観光協会に寄附金を届けました

能登半島地震で被災された方への想いを届けました

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で大きな被害を受けた石川県能登町に対して、寄附金をお渡ししました。寄附金は、松島中学校の生徒会が中心となり募金活動を行い集めたもので、2月22日に被災状況調査で現地を訪問した職員から、能登町の眞智電子教育長に目録と募金箱を手渡しました。

また、(一社)松島観光協会や(当地ヒーロー)のタカレンジャーなどにより、かき祭りで募金活動を行った寄附金についても、(一社)能登半島広域観光協会の楠茂浩専務理事に目録を手渡しました。

能登町に対しては、松島高校等からの寄附金を送っている他、1月と3月に松島町から職員を計4名派遣し、被災地支援業務を行っております。

被災地の様子 (2月22日)



▲右から内海代表取締役、赤間会長



▲写真左 林裕志さん、右 高橋利徳さん



▲ニッショーホールでの受賞の様子

松島町消防団内海邦宏団長 消防庁長官功労章を受章

消防庁長官表彰功労章は、消防団長等の職に10年以上在職して、成績優秀な消防団員等に対して総務省消防庁長官より表彰されるもので、勲章・褒章などの栄典に準じ、最も栄誉あるもののひとつです。3月4日には東京都のニッショーホールで授章式が開催され、松島町消防団内海邦宏団長が出席し、全国の受章者175名(うち消防団員53名)を代表して表彰状を受領しました。

有限会社F・F磯崎が「ノウフク・アワード2023」優秀賞を受賞しました!

有限会社F・F磯崎(代表取締役高橋利徳さん)は、全国で農福連携に取り組んでいる団体・企業・個人に対して受賞される賞で、「ノウフク・アワード2023」優秀賞を受賞しました。

有限会社F・F磯崎は、地域の就労継続支援A型事業所である一般社団法人松島のかげと連携し、約20名の障害者を受け入れ、水稲栽培(約60ha)や牡蠣の養殖などの活動が評価されました。

新型コロナワクチンの保管に使用した超低温冷凍庫を譲渡しました

新型コロナウイルスワクチン接種業務のために国から町に譲渡されていた超低温冷凍庫(2台)は、特別臨時接種の終了によりワクチン保管の役目を終え、町内の事業者が無償譲渡されました。

今後は農水産物の加工や商品開発などで有効活用される予定です。

譲渡先

- 有限会社サンフレッシュ松島
- 代表取締役 内海 孝則 氏
- 宮城県漁業協同組合松島支所
- 青年研究会会長 赤間 拓哉 氏